

川獺狩り カワウソ

明治32年(1899)10月30日の『都新聞』に、当時の胡録神社大祭では、昼には神かぐら楽や村芝居、夜には鯉の寄よせ網あみ、そして川獺狩りの余興きょうが行われていたとの記録がある。かつて隅田川にも生息していた川獺は、狐きつねや狸たぬきと同様、化けて人間に悪さをする動物とされていた



(歩いて学ぼう南千住検定より)